



### 3. 施設管理の重要度が高い系統における定量的な目標について

重要度が高い系統の具体的な視点としては、以下が挙げられる。

- 過去に自施設で不具合が発生しており再発防止の観点から継続的な監視が必要なもの
- 他の施設で発生したもので未然防止の観点から自施設においても監視が必要なもの
- 人と環境に影響を与える可能性が高いもの（作業者及び作業環境への影響を含む）  
例えば、以下が挙げられる。
  - ・許認可図書（保安規定、事業許可申請書など）に記載のある設備
  - ・それが劣化すると人と環境へ影響が発生する恐れがあるもの。例：貯蔵容器
  - ・使用前事業者検査、定期事業者検査、使用前検査、自主検査の対象設備。

### 4. 施設管理の計画について

- 実施にあたっては費用対効果の観点からの検討も行い、無理のない計画とする。予防保全（壊れる前に交換）だけでなく、事後保全（壊れてから交換する）ことも可能である。どのようなものを予防保全とし、また事後保全とするかの考え方をはっきりさせておく。

### 5. 人と環境へ影響を与えるリスクの低い施設における施設管理

- 人と環境へ影響を与えるリスクの低い施設（二種埋設、使用済燃料貯蔵施設、使用者（令第41条非該当施設））における活動においては、規則に定める基本的な活動のみを実施することでよく、設備の数も少ないことから、非常にシンプルなものとなることが予想される。